

■高島秋帆 砲術家。西洋近代砲術を修得して開祖となり、守旧派の策謀で投獄され釈放後、幕府の軍事近代化に貢献。

たかしましゅうはん
古事記伝・・・1798＝

長崎で代々町年寄をつとめ、対外問題に対処するため出島に入る特権を持った家の三男に生まれる。

ワシ船狼藉・1807＝9歳：

父から多くの影響を受けて育ち、

黒住教・・・1814＝16歳：町年寄見習となって出島備場を受持ち、

伊能測量終・1816＝18歳：

水野忠成老中1818＝20歳：

長崎防備のため、はじめ荻野流砲術を学び、

異国船打払令1825＝27歳：

シボム追放・1829＝31歳：

富籤流行・・・1830＝32歳：オランダ人に砲術のことを質問、

高島砲術・・・1834＝36歳：この前後、*高島流砲術と名づけ、西洋近代砲術を最初に紹介

滑稽+人情本 1835＝37歳：武雄藩のために初めて西洋銃を鋳造。

・・・1836＝38歳：父が死去して、長崎町年寄となる。

大塩平八郎乱1837＝39歳：

適塾オープン・1838＝40歳：鳥居平八兄弟が入門してきて、

蛮社の獄・・・1839＝41歳：相伝免状を与え、

勸進帳初演・1840＝42歳：中国のアヘン戦争に鑑み、幕府に上書して西洋砲術の採用を説き、

天保改革始・1841＝43歳：*幕命で出府し、武蔵徳丸ヶ原で操練を行い、名声を得た。幕府は高島流砲術を採用することとし、彼の所持する大砲を購入し、あわせて代官江川太郎左衛門に砲術の伝授を命じた。これ以後、西洋砲術は江戸では江川を中心にして普及したが、幕府の守旧派勢力の忌むところとなり、

天保改革弾圧1842＝44歳：砲術の自由教授を許可された直後、外国人との交際の廉で、長崎で投獄され、江戸に送られ、

順天堂始・・・1843＝45歳：

その後、水野忠邦・鳥居耀蔵の失脚で再吟味となるも、

阿部正弘首座1845＝47歳：

孝明天皇・・・1846＝48歳：追放・預かりの判決が下る。

万次郎帰国・1852＝54歳：

ペリー来航・1853＝55歳：ペリー艦隊の来航により禁固を解かれ、江川太郎左衛門の下で鋳砲に従事し、

安政大地震・1855＝57歳：*創設された講武所の教授方頭取に任じられ、品川砲台の建設や西洋砲術の開祖として賞され、

蕃書調所・・・1857＝59歳：砲術師範となって、幕府の軍事近代化に寄与。

桜田門外変・1860＝62歳：

遣欧使節・・・1861＝63歳：

生麦事件・・・1862＝64歳：講武所奉行支配に至ったが、この年嫡孫が死去、

8月18日政変 1863＝65歳：長男も死去したため、養子をとるなど、

社会に貢献しながら身内は不幸なまま、

薩長同盟・・・1866＝68歳：没した。